

資料 1

大カリキュラム例

期間		9・10・11・12月	1・2・3月	修了	入学	4・5月	6・7月
テーマ		友達と一緒に遊ぶって楽しいな	力を合わせてやってみよう			学校だいすき・友達できたよ	学校は楽しい！学びを深めよう！
ねらい		○遊びの中で自分の思いを実現させていく喜びを感じる ○自分の力を思いきり出して遊びや生活に取り組もうとする ○友達と考えを出し合い話し合いながら遊びを進める楽しさを味わう	○友達と共通の目的をもって活動を進めていくことを楽しむ ○遊びや生活の中で役割を分担し、やり遂げる喜びを味わう ○一年生になる喜びを感じながら園生活を意欲的に過ごす	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	○新しい環境に慣れ学校や学級の中で安心して過ごす ○学級の一員としての意識をもち、友達と過ごすことを楽しむ ○授業の進め方に慣れ喜んで話を聞いたり話したりする	○自分の力を発揮し、友達と一緒に過ごす喜びを感じる ○友達といろいろな活動を楽しんだり学級の仕事を任たりする ○友達と考えや気持ちをだし合い、生活や学習に取り組もうとする	
視	自立	食事のマナーが分かり楽しんで食ことをしようとする	マナーを守って時間内に食事をしようとする	健康な心と体	給食のマナーが分かり、楽しい雰囲気の中で食べようとする	マナーを 守って給食を時間内に食べることができる。	
		園・所の生活の流れに合わせて行動する	園・所の生活に関心をもち、行動する		周りに合わせて行動する	チャイムに合わせて行動できる	
		様々な身体の機能を動かして遊ぶ	十分に身体を動かして遊ぶ		健康や安全に気をつけて生活を送ろうとする	健康や安全に気をつけて、見通しをもった規則正しい生活ができる	
		自分の身体に関心をもつ。	健康や安全に関心をもつ		学習等の準備や片付けの仕方が分かる	学習等の準備や片付けを自分ですることができる	
		自分でできることは自分でしようとする	基本的な生活習慣を身に付け進んで取り組もうとする		しなければならないことに気付き、行動しようとする	しなければならないことに気付き、自分から進んで行動する	
		自分で考えて行動しようとする	あきらめず最後までやり遂げようとする				
	意欲	友達の考えを知り取り入れようとする	友達との対話を通して新しい考えを生み出す	自立心	クラスの友達の考えに触れる中で様々な考えがあることに気づこうとする	クラスの友達の考えに触れる中で様々な考えがあることに気づく	
		身近な事象に関心をもつ	自然の美しさ不思議さを感じ興味関心を深める		動植物の世話を進んでしようとする	生き物に親しみをもち、命を大切にする	
		生活や遊びの中で文字や図形・数量への興味関心をもつ	遊びを通して生活に必要な文字や数字に親しむ		感じたことや発見したことを絵や文字等で表す	言葉や文字、数などに親しみ、生活の場面で進んで活用する	
		苦手なことにも挑戦しようとする	苦手なことにも挑戦する		苦手なこと最後までやり遂げようとする	苦手なことにも最後まで粘り強くやり遂げることができる	
	点	言葉・表現	友達の思いや自分と違う考えを、受け入れようとする	共通の目的意識をもち、関心をもって話を聞いたり思いを伝えたりする	思考力の芽生え	いつ・どこで・だれと・などを意識し、相手に分かりやすく話そうとする	先生や友達とのやりとりの中で、言葉の意味を理解しようしたり、相手に分かるように伝えることができる
			互いの思いを伝え合い、折り合いをつけて遊びを進めようとする	自分の思いを相手に伝わりやすいように話す		相手の話を聞き、言葉で自分の思いを伝えようとする	相手や場に応じて適切に伝えることができる
友達と同じ動きを楽しんだり、表現したりする中で楽しさを感じる			協力して友達と一緒に作ったり表現したりしようとする	友達同士で表現する過程を楽しみ、意欲をもって取り組もうとする		友達同士で表現する過程を楽しみ、進んで伝え合うことができる	
絵本やお話に興味をもち、見たり聞いたりすることを楽しむ				自分の思いや考えをもち、描いたり作ったりして進んで表現しようとする		気づいたことや発見したことを言葉や絵を使って豊かに表現できる	
自分の思いを伸び伸びと表現する			曲想を感じたり、お話の世界を楽しんだりし、イメージを豊かにする				
かわり	友達と互いのよさを認め合う	友達と共通の目的をもち、やり遂げる喜びを味わう	協同性	新しい友達のよいところに気付く	友達と協力して、生活や学習を進めることができる		
	友達と力を合わせて、遊びを進めようとする	自分の役割が分かり、友達と協力して遊びを進める		必要な役割に気付き、友達と協力する	自分の役割を果たそうとする		
	身近な人と関わり、思いを共有する	身近な人に、親しみや思いやりの気もちをもつ		自ら先生や友達に関わろうとする	相手の思いに気付き、温かい心で接する		
	共同・共有の物を大切に扱い、マナーや約束を守ろうとする	自分の住む地域に興味・関心をもち、親しみをを感じる		学校の生活環境を大切にしようとする	身近な地域や人に親しみをもち		
	よいことと悪いことに気付き、行動しようとする	必要なルールを作ったり、守ったりしようとする		遊びや生活に必要なきまりを知る	自分の行動を振り返り、よいと思うことを守ろうとする		

10の姿を4つの視点で構成しています。
縦に見るとその時期の子どもの姿がイメージできます。横に見ると子供の姿の変化をイメージできます。

思考力の芽生え	学習等の準備や片付けを進んで取り組もうとする	目指したい保育・教育の「テーマ」を考えて、具体的な「ねらい」を立てましょう！
自然との関わり・生命尊重	クラスの友達の考えに触れる中で様々な考えがあることに気づこうとする	クラスの友達の考えに触れる中で様々な考えがあることに気づき、自分から進んで取り組もうとする
	動植物の世話を進んでしようとする	生き物に親しみをもち、命を大切にする

接続カリキュラム(大)

期間		9・10・11・12月	1・2・3月	修了	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	入学	4・5月	6・7月
テーマ								
ねらい								
視点	自立							
	意欲				健康な心と体			
	言葉・表現				自立心			
	かかわり				思考力の芽生え			

自然との
関わり・
生命尊重

数量や図形、標
識や文字などへ
の関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな
感性と表現

協同性

社会生活と
の関わり

道徳性・規
範意識の芽
生え

資料 2

中カリキュラム例

- 遊びの中で自分の思いを実現させていく喜びを感じる
- 自分の力を思いきり出して遊びや生活に取り組もうとする
- 友達と考えを出し合い話し合いながら遊びを進める楽しさを味わう

- ☆友達と相談しながら自分達で遊びの場や内容を決め、自分の思いを出し、相手の思いも受入れながら遊びを進めていく面白さを感じるようになってくる。
- ☆大きな行事を経験したことが自信となり、いろいろなことに積極的に取り組むようになる。また、互いに認め合い仲間意識が深まる。
- ☆落ち葉や木の実を集めたり、名前に関心をもったり、使って遊んだりすることを通して自然物に対して積極的に働きかけ、数量の感覚を育んだり、生活や遊びに取り入れていこうとしたりする姿がみられる。
- ☆自分の考えと友達の考えの違いに気づき、折り合いをつけながら一緒に行動するようになる。

	4つの視点	◇環境作り ※保育者の関わり	活動・行事
自立	食ことのマナーが分かり楽しんで食ことをしようとする	◇生活の流れがわかるようなカレンダーやスケジュールなどの掲示をしておく。	落ち葉・どんぐり拾い
	園・所の生活の流れに合わせて行動する	◇健康診断や身体測定を受け、自分の体を大切にしなければならないことに気付けるようにする。	自然物を使った製作
意欲	様々な身体の機能を動かして遊ぶ	◇全身を使う運動と適度な休息を取りいれながら、心身の疲れをいやし、健康にすごせるようにする。	鬼ごっこ（色鬼等）
	自分の身体に関心をもつ	※食に関わる体験を積み重ねることで、みんなで食べる楽しさやマナーの大切さに気づけるようにする。	
言葉表現	自分でできることは自分でしようとする	※自分でできることの喜びや自信に共感し、子供が自ら選択して行動できるようにする。	
	自分で考えて行動しようとする	※自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守り、認めていく。	
言葉表現	友達の考えを知り取り入れようとする	◇身近な草花や生き物に親しみ、自然への好奇心を育む経験ができるようにする。	昔遊び
	身近なこと象に関心をもつ	◇季節の変化を感じたり、自然物を遊びに取り入れたり、子供の気付きをクラスで共有できる環境をつくる。	お店屋さんごっこ
言葉表現	生活や遊びの中で文字や図形・数量への興味関心をもつ	◇生活や遊びの中で図形・数量の感覚が育まれるような機会をつくる。	楽器あそび
	苦手なことにも挑戦しようとする	◇身近なものの名前、歌詞などをひらがなで書いて掲示しておくなど、自然と文字に関心がもてるようにする。	なわとび
言葉表現	友達の思いや自分と違う考えを、受け入れようとする	※子供同士の意見のやりとりを促し、思いやイメージが共有できるよう仲立ちする。	マラソンごっこ
	互いの思いを伝え合い、遊びを進めようとする	※友だちと励ましあったり、お互いの良さを認め合ったりできるような環境づくりをし、苦手なことにも安心して取りくめるようにする。	
言葉表現	友達と同じ動きを楽しんだり、表現したりする	※心の育ちを温かく見守り、自信や自己肯定感が育まれるよう関わる。	
	中で楽しさを感じる	◇ごっこ遊びを通して必要な言葉のやりとりをしたり、文字や数字に興味をもち遊びに取り入れたりする。	運動会
言葉表現	絵本やお話に興味をもち、見たり聞いたりすることを楽しむ	◇自然と体が動くような表現しやすい曲想を選び、繰り返し楽しめるよう環境を用意する。	バス遠足
	自分の思いを伸び伸びと表現する	※遊びの中で思いを出し合う姿を認め、思いが伝わりやすいように援助する。	生活発表会
言葉表現		※互いの思いを伝え合いながら、折り合いをつける経験ができるようにする。	クリスマス会
		※思ったことを言葉で伝えながら友達と一緒に考えたり工夫したりできるように援助する。	
言葉表現		※幼児と一緒に考えた表現や動きを取り入れ、友達と一緒に表現を構成していく楽しさが味わえるようにする。	
		※いろいろなお話や絵本、素話などを聞いたり、そのものに触れたり経験したりして、よりイメージが膨らみ心動くよう活動や環境を工夫する。	大そうじ
言葉表現		※思ったことや感じたことを自分なりに表現し、その楽しさが味わえるよう、題材や材料、経験など工夫する。	
		※言葉や表現をしっかりと受けとめ応えていくことで、安心して自分の思いを表すことができるようにする	
言葉表現	友達と互いの良さを認め合う	◇自分や友達のよさに気付けるように、幼児のよい姿を認めたり、他児に知らせたりする場や機会をもつ。	
	友達と力を合わせて、遊びを進めようとする	◇友達と考えや思いを出し合う必要がある遊びの環境や機会をもつ。	
言葉表現	身近な人と関わり、思いを共有する	◇自分たちで正しく使ったり、片付けたりができるよう、用具を分類・整理しておく。	
	共同・共有の物を大切に扱い、マナーや約束を守ろうとする	※身近な人や地域の人と関わる楽しさを共有したり、心地よさを感じたりできるように関わり方を知らせる。	
言葉表現	よいことと悪いことに気づき、行動しようとする	※様々な場面での言動についてクラスで話し合い、相手の気持ちやどのようにすればよいのか幼児自らが気付けるよう、声を掛けたり、話し合う場をもったりする中で自分と身近な人を大切にしようとする気持ちが育まれるようにする。	
		※遊具や用具等の正しい扱い方を知らせ、所持品や共有の物を安全に、また大切に使うことができるようにする。	

家庭連携

行事に向け、がんばっている過程を認めてもらえるように、連絡帳等で日々の様子を伝える。

心身の疲れが出やすい時期のため、一人一人に応じた生活リズムの整え方や、情緒の安定の図り方について話し合う機会を作る。

保護者がもつ就学や子供の発達についての不安な気持ちをくみとり、前向きな気持ちをもっていただけるように関わる。

小学校連携

保育参観や教師・保育士の交流の機会をもつ。

小学校の運動会に招待をし、小学校の雰囲気を味わわせる。

1月・2月・3月 テーマ 力を合わせてやってみよう

ね
ら
い

- 友達と共通の目的をもって活動を進めていくことを楽しむ
- 遊びや生活の中で役割を分担し、やり遂げる喜びを味わう
- 一年生になる喜びを感じながら園生活を意欲的に過ごす

幼
児
の
姿

- ☆ いろいろな場面で友達と共通の目的をもつことにより、自分なりに最後まで頑張ろうとする気もちをもつようになる。
- ☆ 友達と遊びを進める中で、教え合ったり励まし合ったりしながら互いのよさを受け止めていくようになる。
- ☆ 個人差はあるが、文字への関心が高まり、自分で絵本を読んだり友達と手紙のやりとりをしたりするなど文字を使った遊びが増えてくる。
- ☆ 一年生になるという自覚と期待感が強くなり、何ことも頑張っしょうとする前向きな態度がみられる。一方不安になる幼児もいる。

	4つの視点	◇環境作り ※保育者の関わり	活動・行事
自立	マナーを守って時間内に食事をしようとする 園・所の生活に関心をもち、行動する	◇日にちや時間の流れがわかり、生活に見通しがもてるような掲示物を工夫する。 ◇戸外で身体機能を十分に動かして幅広い遊びを経験できるような場を工夫する。 ※今やるべきことを判断し、活動しようとする気もちを見守る。 ※自然や生活の変化に応じて、健康で安全に過ごすためにはどうすればよいか自ら考えられるように関わる。	正月遊び ・かるた ・すごろく ・こままわし ・凧揚げ
	十分に身体を動かして遊ぶ 健康や安全に関心をもち 基本的な生活習慣を身に付け進んで取り組もうとする あきらめず最後までやり遂げようとする	※食事・排便・睡眠等の大切さを知らせ、意識をもてるようにする。 ※片付けや清潔にすることの必要性がわかり、自ら取り組めるように援助する。 ※成し遂げようとしたことに最後まで諦めず取り組み、自信につながるようにする。	カードゲームをする
意欲	友達との対話を通して新しい考えを生み出す 自然の美しさ不思議さを感じ興味関心を深める	◇木々の芽吹きや花の蕾から生命力や自然の力等を感じられるような環境を作る。 ◇遊びや生活の中で数えたり比べたりする機会を取り入れ、数量に関心がもてるようにする。 ◇生活の中で必要な文字の習得が出来るように環境を整え、関心がもてるようにする。	・坊主めくり ・トランプ
	遊びを通して生活に必要な文字や数字に親しむ 苦手なことにも挑戦する	◇いろいろな用具遊具を適材適所を選び、それらの特性に応じた使用の機会を増やす。 ※人の考えを取り入れることにより、刺激を受けて物ことを理解・発展できるような援助をする。 ※動植物の世話の引き継ぎをする際、大切な思いや丁寧な扱い方等を文字や絵にして伝える機会を作る。 ※実行するところまで丁寧に関わり、認めたり励ましたりして、自信や責任感につながるようにする。 ※心の育ちを温かく見守り、自信をもち主体的に活動する意欲が高まるように関わる。	わらべうた遊び 楽器遊び 手紙を書いて遊ぶ 学校ごっこ
言葉・表現	共通の目的意識をもち、関心をもちて話を聞いたり思いを伝えたりする	◇遊びや生活の中で言葉を選んだり考えたりする機会を作る。 ◇安心して自分の思いを表すことができる環境の中、身近な人と言葉や表現により心を通わせる喜びを味わえるようにする。	ドッジボール
	自分の思いを相手に伝わりやすいように話す 協力して友達と一緒に作ったり表現したりしようとする 曲想を感じたり、お話の世界を楽しんだりし、イメージを豊かにする	◇題材に応じた用具を使い、感じたことやイメージしたことを、描いたり作ったりして表現できるようにする。 ◇音楽に合わせて楽器でリズムをとったり、身体全体で表現したりして遊ぶ場を作る。 ◇絵本や物語等に触れ、文字の羅列にならないよう言葉の意味や温かさ、内容の楽しさが味わえるようにする。 ※言葉の強弱から、相手の思いを感じ取れるよう援助する。 ※心地よい言葉を使うことにより、友達と仲良くなる体験を重ね、意識して使えるようにする。 ※いろいろな曲想を感じながら歌う経験ができるようにする。 ※人に伝えたい、描きたい等、表現したくなるような感動体験が積み重ねられるようにする。	鬼ごっこ ・ケイドロ ・氷鬼 マラソンごっこ 発表会 豆まき
かかわり	友達と共通の目的をもち、やり遂げる喜びを味わう	◇地域の出来ことや、遊びや生活に必要な情報を取り入れ友達と伝え合う機会をもつ。 ◇場や人に応じた態度で参加したり、話したりする力をつけられるような機会をもつ。	ひな祭り会
	自分の役割が分かり、友達と協力して遊びを進める 身近な人に、親しみや思いやりの気もちをもつ 自分の住む地域に興味・関心をもち、親しみを 感じる 必要なルールを作ったり、守ったりしようとする	◇小学校の入学に期待し、周りからの情報に関心をもてるように掲示物などを工夫する。 ※よいこと、悪いことを自分なりに判断し行動する姿を褒めたり認めたりしながら、自信をもった生活ができるようにする。 ※共通の目的に向かって役割分担をしたり、工夫したり助け合ったりしながら活動する中で、よさを認め合いながら、集団の一員であることを意識した生活ができるように関わる。 ※入学を目前にし、環境が変わっていくことを感じ取る中で、家族や周囲の期待に応えようとする姿を認める。 ※身近なルールや交通ルールの必要性がわかり、それらを守り安全に生活しようとする気もちがもてるようにする。	お別れ会 お別れ遠足 修了式 終業式

家庭連携

一人一人の生活に合わせ、柔軟な対応をとりながら、家庭でも就学に向けて見通しをもった適切な規則正しい生活リズムが作られるよう働きかける。
これまでの園生活を振り返り、子供の成長を実感し、共に喜び合えるようにする。また、育児に対する労いの気もちを伝え、保護者自身の成長についても振り返り、認める機会をつくる。
残り少ない園生活を充実して過ごせるように、進学への期待感を受け止め、ゆったりとした気もちで子供を見守り支えてもらえるようにする。
進学に対して不安な気もちを抱く幼児もいるので、小学校の具体的な様子を知らせ、楽しいイメージがもてるよう協力してもらう。

小学校連携

小学校のグラウンドで遊んだり、校舎内を見学したりする機会を設け、施設を知る 教師間でも授業や保育を参観し合い、児童、幼児の姿を把握する。
・書き初め展を見学 ・マラソン大会応援 ・給食体験 ・合同作品展 ・卒業生を祝う（卒業式にお花を渡す） ・出前授業
小学校の給食体験を通して、小学校給食の内容や味を知り、安心して食べられるようにする。 就学や育児不安がある家庭について申し送りをする。

4月・5月 テーマ 学校だいすき友達できたよ

ね
ら
い

児
童
の
姿

- 新しい環境に慣れ、学校や学級の中で安心して過ごす
 - 学級の一員としての意識をもち、友達と過ごすことを楽しむ
 - 授業の進め方に慣れ、喜んで話を聞いたり話したりする
- 小学生になった喜びと期待をもつ中で、基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けようとする。
- 小学校の一員になった自覚が強くなる。
- 先生や友達と学校生活を送る中で、学校の施設やルールについて理解しようとする。
- 小学校での新しい生活に楽しみや期待をもち、様々な人や物に関わろうとする。

4つの視点		◇環境づくり ※教師の関わり（指導）	教 科 行 事
自立	給食のマナーが分かり、楽しい雰囲気の中で食べようとする 学習の準備や片付けの仕方が分かる 周りに合わせて行動する 健康や安全に気をつけて生活を送ろうとする しなければならないことに気付き、行動しようとする	◇一日の学校生活の流れが分かり、生活に見通しがもてるような掲示物を工夫する。 ◇安心安全に学校生活が送れるように絵や写真、図等の掲示物を使って視覚的に提示する。 ※学校での基本的な生活習慣が身につくように繰り返して丁寧に伝える。 ※イスの座り方、鉛筆の持ち方など教師が手本を見せるなどして、繰り返して丁寧に指導する。 ※給食の準備や後片付けの仕方を丁寧に指導することで、子供たち同士で協力して準備や後片付けができる習慣を身に付けさせる。	入学式 地域仲良し会 一年生を迎える会 体力テスト 避難訓練 生活科 「いちねんせいになったよ」
	クラスの友達の考えに触れる中で様々な考えがあることに気づこうとする 動植物の世話を進んでしようとする 感じたことや発見したことを絵や文字等で表す 苦手なことも最後までやり遂げようとする	◇いつでも子供たちが安心して支援を求められるような、声かけや雰囲気、環境を整える。 ※一人一人の子供が係活動、当番活動の中で役割をもつことが、みんなの役に立っているということを自覚させることで、自信につなげる。 ※学校の周りの自然に親しんだり、友達と一緒に植物を育てたりするために環境を整える。 ※学んだことを自分の言葉や絵で表現できるように支援するとともに、互いに学び合える場の設定をする。	「がっこうとともだち」 げんきにがっこうにいけるかな がっこうのいちにちはどうなっているのかな こうてもたんけんしてみよう
言葉・表現	いっどこでだれと等を意識し、相手に分かりやすく話そうとする 相手の話を聞き、言葉で自分の思いを伝えようとする 友達同士で表現する過程を楽しみ、意欲的に取り組もうとする 自分の思いや考えをもち、描いたり作ったりして進んで表現しようとする	◇自分の思いや意見を朝の会でのスピーチ活動、授業の中でのペアやグループ学習等で常に表現できるような環境設定を工夫する。 ◇具体物、図や写真、文字を用いて教室に掲示し、常に意識できるようにする。 ◇さまざまな学習活動を友達と一緒にがんばれるように、グループ学習やペア学習など学ぶ場や形態等を工夫する。 ◇子供一人一人の個性や発想を引き出すために、日頃から読み聞かせを行ったり、休み時間でのふれあいやフリートークを大切にしたりする。 ◇子供一人一人の個性や発想を引き出すために、子供の描く自由画や図画工作等の表現活動も大切にする。 ※元気に挨拶や返ことができるように、指導者が自ら模範を示す。 ※発表のルール等を声のものさしや図や文字を用いて繰り返して丁寧に伝えることで習慣づける。 ※どの子供も自信をもって表現活動ができるように、発表した子供のよかったところなど全体の前で認める。 ※授業や遊び、生活の中で、子供ができたことやがんばりを認め、自信をもたせる。	たんけんしたことをみんなではなそう がっこうのまわりをあるいてみよう あんぜんにきをつけてかえられるかな 国語科 「あさ」 「なんていおうかな」 どうぞよろしく」 図画工作 「すなやつちとなかよし」 「すなやつちでねん
	新しい友達のよいところに気づく 必要な役割に気付き、友達と協力する 自ら先生や友達に関わろうとする 学校生活環境を大切にしようとする 遊びや生活に必要なきまりを知る	◇授業のまとめや振り返りの場、終わりの会等で互いのよさを認め合える場を設定する。 ◇グループ学習や当番活動、清掃活動等を通して友達を意識して活動できる場を設定する。 ◇授業時間だけではなく、休み時間も人間関係が広がるように全員遊び等を取り入れる。 ※自から先生や友達に関わろうとする意欲をもたせるために、日常的な声かけや関わりを大切にする。 ※学校のルールや決まりを丁寧に指導する。 ※安心して学校生活がスタートできるように学校体制の中で全教職員が関わるようにする。	ど」 音楽 「はくをかんじてりずむをうとう」 体育 「固定遊具をつかった運動遊び」 生活科 「ひとつぶのたねから」 たねをまこう せわをしよう みんなにつたえよう

家庭との連携

家庭訪問や日々の連絡、学級通信等を通して家庭での生活態度を把握すると共に、学校生活の様子を知らせる。
学校で教えていること、学習の内容を家庭にも伝え、家庭と一緒に身に付けさせていく。

接続期工夫

地域ボランティア、PTA と連携を図り、子供の登下校の安全を見守る。
授業や生活の中で、保育所や幼稚園での遊びの要素を取り入れ、緊張感を和らげながら楽しめるようにする。
保幼小連絡会、連絡シート等により保育所、幼稚園での様子や家庭環境について情報交換する。

ねらい

○自分の力を発揮し、友達と一緒に過ごす喜びを感じる
○友達といろいろな活動を楽しんだり学級の仕ことを行ったりする
○友達と考えや気持ちを出し合い、生活や学習に取り組もうとする

児童の姿

小学校生活にも一定慣れ、基本的な生活習慣や学習習慣が身に付き、見通しをもって生活が送れるようになる。一層学習や生活の意欲が高まる。
新しい友達ができたり、上級生との交流も増えたりして生活に広がりが出てくる。
教科書を使って教科学習に取り組み、文字や数字を書いたり、自分の言葉で表現できたりするようになる。

4つの視点		◇環境づくり ※教師の関わり(指導)	教科行事
自立	マナーを守って給食を時間内に食べることができる チャイムに合わせて行動できる 健康や安全に気をつけて、見通しをもった規則正しい生活ができる 学習の準備や片付けを自分ですることができる しなければならないことに気付き、自分から進んで行動する	◇一日の学校生活の流れが分かり、生活に見通しがもてるように時間割表などの掲示物を工夫する。 ◇係活動や清掃当番等、子供たちが自らわかって動くことができるように、視覚的に提示したり、意欲をもたせるような声かけ等工夫する。 ※食に関する意識が高まり、給食や家庭での食ことが健やかな体をつくるために必要なことであることを学習や日常の生活の中で常に意識させる日常的に家庭や栄養教諭との連携をとる。 ※学校での基本的な生活習慣を丁寧に伝え、確実に身につくように定期的に確認する。	プール開き 地域仲良し会 終業式 縦割り班活動 生活科 「ひとつぶのたねから」 せわをしよう みんなにつたえよう 生活科
意欲	クラスの友達の考えに触れる中で様々な考えがあることに気づく 生き物に親しみをもち、命を大切にする言葉や文字、数などに親しみ、生活の場面で進んで活用する 苦手なことにも最後まで粘り強くやり遂げることができる	◇さまざまな学習活動を友達と一緒にがんばれるように、グループ学習やペア学習など学ぶ場や方法を工夫する。 ◇図や文字を用いて学んだ内容を教室に掲示したり、子供同士が学習のまとめを共有できる場を設定したりして、常に意識できるようにする。 ※授業や遊び、生活の中で、子供ができたことを認め、自信をもたせる。 ※子供個々のよさが認め合えるように、全体場で評価する。 ※学校の周りの自然に親しんだり、友達と一緒に植物を育てたりする。	「さあみんなででかけよう」 なにをしてあそぼうかな みんなのあそびばでたのしもう たのしかったことをつたえよう
言葉・表現	相手や場に応じて適切に伝えることができる 先生や友達とのやりとりの中で言葉の意味を理解しようとしたり相手に分かるように伝えたりすることができる 友達同士で表現する過程を楽しみ、進んで伝え合うことができる 気づいたことや発見したことを言葉や絵を使って豊かに表現できる	◇声のものさし、発表のルール等の図や文字を用いて教室に掲示し、常に意識できるようにする。 ◇日頃から子供たちが安心して支援を求められるような、声かけや雰囲気、環境を整える。 ◇どの子供も自分の思いや意見を朝の会でのスピーチ活動、授業の中でのペアやグループ学習等で常に表現できるように工夫する。 ◇学んだり、発見したりしたことを自分の言葉や絵で表現し、互いに学び合える環境を整える・ ◇子供たちが自ら表現したくなるような体験活動や表現する時間の設定を行う。 ※個々の学びの様子を常にチェックし、個別に配慮が必要な子供については日常的に声をかけたり、ヒントを与えたりする。 ※発表した子供のよかったところなど全体の前で評価する。	国語科 「ぶんをつくろう」 算数科 「こうえん」 音楽科 「うたでなかよしになろう」 「うたでさんぽ」 図画工作 「せんせいあのね」
かかわり	友達と協力して生活や学習を進めることができる 自分の役割を果たそうとする 相手の思いに気付き、温かい心で接する 身近な地域や人に親しみをもち 遊びや生活に必要なきまりを守ろうとする	◇グループ学習や当番活動、清掃活動等を通して友達を意識して活動できる場を設定する。 ◇授業や終わりの会等で互いのよさを認め合える場を設定する。 ◇授業時間だけではなく、休み時間も人間関係が広がるように全員遊び等を取り入れる。 ◇学習や生活の中に地域の人や行事、情報を取り入れ、地域に親しむ機会を設定する。 ※縦割り集会や活動の中で、他学年の子供たちからの声かけや関わりを通して、自ら様々な人に関わろうとする意欲をもたせる。 ※学校や、クラスのきまりについて子供たちの間で確立できるよう支援する。 ※善悪の判断について、自分なりに判断し行動する姿を、全体場で評価する。	

家庭との連携

家庭訪問や日々の連絡、学級通信等を通して家庭での生活態度を把握すると共に、学校生活の様子を知らせる。
学習の準備や宿題、家庭学習など自らできるよう、家庭との連携を密にする。

接続期工夫

地域ボランティア、PTA と連携を図り、子供の登下校の安全を見守る。
保幼小連絡会、連絡シート等により保育所、幼稚園での様子や家庭環境について情報交換する。
学習や生活の中で、幼稚園や保育所で行ってきた遊びの要素も取り入れ、子供同士の中で広がりを作る。

1月・2月・3月 テーマ 力を合わせてやってみよう

ねらい

- 友達と共通の目的をもって活動を進めていくことを楽しむ
- 遊びや生活の中で役割を分担し、やり遂げる喜びを味わう
- 一年生になる喜びを感じながら園生活を意欲的に過ごす

幼児の姿

- ☆ いろいろな場面で友達と共通の目的をもつことにより、自分なりに最後まで頑張ろうとする気持ちをもつようになる。
- ☆ 友達と遊びを進める中で、教え合ったり励まし合ったりしながら互いのよさを受け止め、協力しあうようになる。
- ☆ 言葉の表現はあきまり、文字への関心が高まり、自分で絵本を読んだり友達と手紙を書いたりする。
- ☆ いろいろな曲想を感じながら歌う経験ができるようになる。
- ☆ 人に伝えたい、描きたい等、表現したくなるような感動体験が積み重ねられるようになる。

自立	マナーを生活の中で身に付け、集団の流れがわかるようになる。自分の役割を十分に理解し、活動中に集中し、活動が完了すると、健康な生活を送る。	指導がイメージしやすいように、この時期の保育・教育で大切にしたいことを「テーマ・ねらい」と表しています。幼児の姿と合わせて指導をイメージしてみましょう。	中カリキュラム 各期の姿を育むための指導の留意点を4つの視点に分けて記しています。
意欲	友達と共通の目的をもち、やり遂げる喜びを味わう。自然の美しさや、動物の姿などに興味を持ち、観察し、遊びを通して生活に必要な文字の習得が出来るように環境を整え、関心をもてるようにする。	◇遊びや生活の中で友達と協力して遊ぶ機会を増やす。 ◇いろいろな用具遊具を適材適所を選び、それらの特性に応じた使用の機会を増やす。 ※人の考えを取り入れることにより、刺激を受けて物ことを理解・発展できるような援助をする。 ※動植物の世話の引き継ぎをする際、大切な思いや丁寧な扱い方等を文字や絵にして伝える機会を作る。 ※実行するところまで丁寧にに関わり、認めたり励ましたりして、自信や責任感につながるようにする。 ※心の育ちを温かく見守り、自信や責任感につながるような援助をする。	・風揚げ カードゲームをする ・坊主めくり ・トランプ わらべうた遊び 楽器遊び 手紙を書いて遊ぶ 学校ごっこ
言葉・表現	共通の目的意識をもち、関心をもって話を聞いたり思いを伝えたりする。自分の思いを相手に伝わりやすいように話す。協力して友達と一緒に作ったり表現したりしようとする。曲想を感じたり、お話の世界を楽しんだりし、イメージを豊かにする。	◇遊びや生活の中で友達と協力して遊ぶ機会を増やす。 ◇安心して自分の思いを相手に伝わりやすいように話す。 ◇題材に応じた表現方法を使い、表現できるようにする。 ◇音楽に合わせて楽器や歌で表現できるようにする。 ◇絵本や物語等に触れ、文字の読み書きの楽しさを味わえるようにする。 ※言葉の強弱から、相手の思いを感じ取れるよう援助する。 ※心地よい言葉を使うことにより、友達と仲良くなる体験を重ね、意識して使えるようにする。 ※いろいろな曲想を感じながら歌う経験ができるようにする。 ※人に伝えたい、描きたい等、表現したくなるような感動体験が積み重ねられるようにする。	ドッジボール 鬼ごっこ ・ケイドロ ・氷鬼 マラソンごっこ 発表会 豆まき ひな祭り会
かわり	友達と共通の目的をもち、やり遂げる喜びを味わう。自分の役割が分かり、友達と協力して遊びを進める。身近な人に、親しみや思いやりの気持ちをもつ。自分の住む地域に興味・関心をもち、親しみを覚える。必要なルールを作ったり、守ったりしようとする。	◇地域の出来ことや、遊びや生活に必要な情報を取り入れ友達と伝え合う機会をもつ。 ◇場や人に応じた態度で参加したり、話したりする力をつけられるような機会をもつ。 ◇小学校の入学に期待し、周りからの情報に関心をもてるように掲示物などを工夫する。 ※よいこと、悪いことを自分なりに判断し行動する姿を褒めたり認めたりしながら、自信をもった生活ができるようにする。 ※共通の目的に向かって役割分担をしたり、工夫したり助け合ったりしながら活動する中で、よさを認め合いながら、集団の一員であることを意識した生活ができるように関わる。 ※入学を目前にし、環境が変わっていくことを感じ取る中で、家族や周囲の期待に応えようとする姿を認める。 ※身近なルールや交通ルールの必要性がわかり、それらを守り安全に生活しようとする気持ちをもてるようにする。	お別れ会 お別れ遠足 修了式 終業式

家庭連携

一人一人の生活に合わせ、柔軟な対応をとりながら、家庭でも就学に向けて見通しをもった適切な規則正しい生活リズムが作られるよう働きかける。

これまでの園生活を振り返り、子供の成長を実感し、共に喜び合えるようにする。また、育児に対する労いの気持ちを伝え、保護者自身の成長についても振り返り、認める機会をつくる。

残り少ない園生活を充実して過ごせるように、進学への期待感を受け止め、ゆったりとした気持ちで子供を見守り支えてもらえるようにする。

進学に対して不安な気持ちを抱く幼児もいるので、小学校の具体的な様子を知らせ、楽しいイメージがもてるよう協力してもらう。

小学校連携

小学校のグラウンドで遊んだり、校舎内を見学したりする機会を設け、施設を知る。教師間でも授業や保育を参観し合い、児童、幼児の姿を把握する。

・書き初め展を見学 ・マラソン大会応援 ・給食体験 ・合同作品展 ・卒業生を祝う（卒業式にお花を渡す） ・出前授業

小学校の給食体験を通して、小学校給食の内容や味を知り、安心して食べられるようにする。 就学や育児不安がある家庭について申し送りをする。

月月テーマ

ねらい

児童の姿

4つの視点		◇環境づくり ※教師の関わり（指導）	教科行事
自立			
意欲			
言葉表現			
かかわり			

家庭との連携

接続期工夫